
バカとBAKA

闇音ナイト

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカとBAKA

【Nコード】

N5854Z

【作者名】

闇音ナイト

【あらすじ】

主人公の天城あまぎ 雫しずくは

実は、同じ年の雨城あめしろ 晴那はるなに恋をしているが

本人は気付く事無く過すが、だんだん自覚していく。

一方、雨城は、天城のことをどう思ってるのか・・・。

ベタな恋愛ストーリー バカとBAKA

部活めあて（笑）

私は、天城あまぎ 雪しずく。

今度、中学1年生になる。

私は、一言で言うとか。であるわけなんです。

私にも、春が来たのに、全く気付いていないのだから。

「なあ。中学校、サッカー部ないんだって・・・」

「え．．．そうなの？」

今、一緒に話してるのは、同じクラスで、同じマンションの

雨城あめしろ晴那はるな。

サッカーが好きで、6年生の時に引越してきた。

「まあ、他にもいい部活あるって。」

「天城は、どこに入るか決めてんの？」

なんでアタシのを聞くのよ．．．

とか思ってたけど、ない、と言えば嘘になるし、言った。

「アタシは、演劇部・・・。」

「・・・。」

あれ？引かれちゃったかな・・・??

「へー、なんか意外だけいいじゃん。」

あ・・・そう・・・??

ってか意外だったんだ。

まだ、ちよつと先だけどなんかワクワクしてきた！

同じクラス

ついに私たちは、中学校の門をくぐった。

「えーっと・・・1組だったよね・・・??」

組み分けの表が貼られてる中庭は、人でぐちゃぐちゃだった。

だから、1組にはどんな名前の人がいるとか全然見ていない・・・。

「知り合い多いといいな」

初めての中学校生活・・・知り合いがいると助かるんだけど・・・

ガラッと扉をあける。

（うわー、結構いる・・・）

すでに教室には、たくさんのクラスメイトであふれていた。

席は、出席番号順。

なんとか見つけて座ると、見覚えのある子が隣に座っている。

（どっかで見たぞ・・・）

「あー！ 小学校のスキー旅行で・・・！」

「あー！」

なんと、スキー旅行と一緒にコーチをいじめてた子だった。

「同じ班の次は、同じクラスか！」

彼女の名は、山口 百花。
やまぐち ももか

百花は私の名前を聞いて、

「天城って・・・てんじょうやん!!!!」

なんてことを・・・（笑

見た感じ、相当のゲラであるな・・・。

「そう言えば、このクラス、てんじょうに似た名前あんで。」

「へ?..?」

ま・・・まさか。

「確か・・・あめ・・・あま?..?」

「雨城?」

「そうそう!“あめしろ”!!」

まじかよ・・・！？

6年も一緒に・・・中学になってもか（笑

「やっぱりお前か。」

この声は

「雨城・・・くん。」

「ほえ？なんで君付け？？」

「また同じクラスやな、よろしく！」

「お・・・おう。」

なんや、向こうはあんま気にしてないんだ・・・。

って！！

なんでアタシが気にしなアカンの!？

「そうだよ! 普通だよ普通! !」

「なにが？」

「ああ、なんでもないっ!」

な、
なんか凄い1年になりそう・
・
・

同じクラス（後書き）

一回目あとがき無しだったんですけど、書いてみました！

あの、ホント、ベタなんで・・・！！

感想よろしくです

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5854z/>

バカとBAKA

2011年12月20日17時54分発行